

**市民協働事業「スタートアップ社会実装推進事業」**  
**受託候補者選定に係る実施要領**

(趣旨)

第1条 市民協働事業「スタートアップ社会実装推進事業」をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱（以下、「実施要綱」という。）及び横浜市委託に関するプロポーザル方式運用基準に定めがあるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

(実施の公表)

第2条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要・基本計画等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

(提案書の内容)

第3条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは別に定める。

- (1) 当該業務の実施方針
- (2) 当該業務に関する具体的な提案
- (3) 実施体制
- (4) 類似業務実績
- (5) 参考見積書
- (6) その他当該業務に必要な事項

(評価)

第4条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 業務目的・内容の理解度
- (2) 業務実施方針の妥当性
- (3) スタートアップ支援ネットワークの形成
- (4) スタートアップからの企画公募・選定
- (5) 試作品等の開発、実証実験及びトライアル導入の実施及び効果検証
- (6) 効果的な情報発信
- (7) 業務目的達成の実現性
- (8) 提案者によるその他提案事項
- (9) 従事スタッフの構成・人数など

(10)運営計画の妥当性

(11)類似業務の実績

- 2 プロポーザルの評価にあたって、提案者にヒアリングを行うものとする。
- 3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。
- 4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 評価委員会は、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
  - (2) 評価の着眼点、評価項目及びそのウェイト並びに評価基準の確認
  - (3) ヒアリング
  - (4) 評価結果の集計及び報告
- 2 評価委員会には委員長、副委員長及び委員を置き、次のとおりとする。

委員長	経済局	副局長
副委員長	経済局	イノベーション都市推進部長
委員	経済局	産業連携推進課長
	経済局	ものづくり支援課長
	経済局	中小企業振興課担当係長

- 3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。
- 4 評価委員会は、委員の5分の4の出席をもって成立する。
- 5 評価委員の採点の合計点数（加算項目を含むすべての評価項目の合計点数）が満点の5／10以上の中から、もっとも点の高い者を受託候補者とする。
- 6 評価が同点の場合は、次の順序で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。
  - (1) 加重項目の合計点が上位の者
  - (2) 評価基準の「2 提案内容に関する視点」の合計点が上位の者
- 7 委員長は、評価結果を経済局入札参加資格審査・指名業者選定委員会に報告するものとする。

(評価結果の通知)

第6条 選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会について、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと。
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと。
- (3) 評価結果に関し、必要事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附 則

この要領は、令和４年９月22日から施行する。